



令和5年(2023)7月22日 第66号

高槻・五領の環境と 子どもの未来を守る会 News



講演会 報告 講師 大倉清教氏 “写真で見る鶺鴒の自然 野鳥・昆虫・動物たち”



2023年6月25日、五領公民館において、大倉清教氏におけるセミナー“写真で見る鶺鴒の自然 野鳥・昆虫・動物たち”が約2時間にわたり行われました。参加者は、50名をはるかに超え、住民の近隣の自然への関心の高さを示していました。講座では、氏が日ごろから鶺鴒で撮影されている色鮮やかで美しい写真が大スクリーンに投射され、非常に丁寧で判り易い解説がありました。鶺鴒の美しく豊かな自然に改めて感動を覚えました。

氏は現在鶺鴒で、100種類程度の鳥たちに出会っておられます。残念ながら、この10年程度の間に、16種類の鳥を見かけなくなったそうです。「守る会 News」では、この「鶺鴒から居なくなった鳥たち」を取り上げたいと思います。但しこれらは大倉氏の観察です。これらの鳥たちを見かけた方は、ぜひ、ご連絡をお願いいたします！ M.M



図書館の未来を考える
子ども
おとな
まち育て

2023年
7/30
(日)
13:30~15:30
受付 13:15

生涯学習センター
研修室 (定員54名)
高槻市役所総合センター内3F

HPメールフォーム
からも申込み
可能です

Homepage

図書館の未来を考える
/ズ(TLF)講演会
京都橋大学教授
瀬戸内市民図書館初代館長
れる今、公共政策のあり方が問われて
ために図書館で何ができるのか。
策の可能性をひろげた瀬戸内市民図書館
共政策をご専門の嶋田学氏をお迎えし、
てについて、お話しいただきます。
ちづくりに関心のある方など、お気軽

嶋田学氏プロフィール ☆
大阪生まれ。
中市、播磨赤松町、岡山県北の国
備前、岡山県瀬戸内市で新図書館整備に携
2016年6月瀬戸内市民図書館もみわ広場を
2017年、Library of the year大賞とオー
ズ賞を受賞。
4月から京都橋大学教授(図書館司書課程)
講師「まち育て・デモクラシー」(青弓社)

事務局 森井 09098635117 (sms可)
| tlibraryfriends@gmail.com

講演会 お知らせ 図書館の未来を考える

「たかつきライブラリーフレンズ」主催の講演会が開催されます。講師の“嶋田学”氏は、現京都橋大学教授、岡山県瀬戸市の瀬戸内市民図書館もみわ広場の開館に尽力され、Library of the year 大賞、オーディエンス賞を受賞されています。公共政策がご専門で、今回の講演内容は“住民参加の図書館・まち育て”についてになるようです。市民と行政が参画し、「もみわ」=もちより、みつけ、わけあう、広場を6年がかりで開館させた実績と、その後の多くの行政との関わり(主に、各市図書館協議会委員)での知見による、興味深い講演が期待されます。



瀬戸内市民図書館 外観 及び 内部写真 撮影 2019年5月23日 mm

子どもたちと考える 第37回戦争と平和展 in 高槻・島本 2023

“二度と戦争をさせない・起こさないために” 毎年、8月10日~13日頃に企画されている展示会と講演会のご案内です。

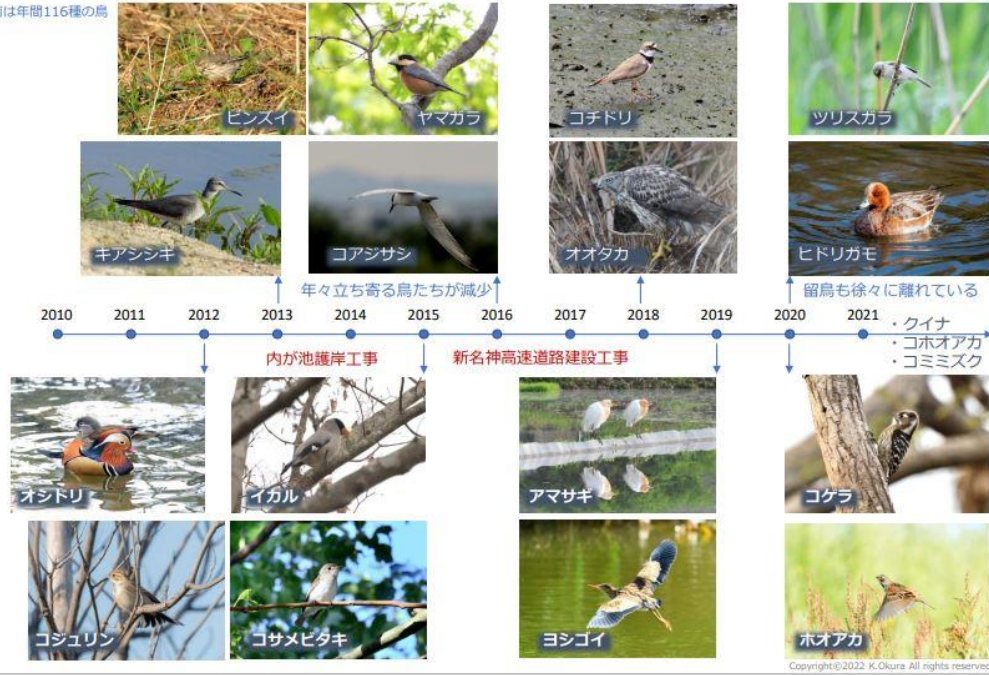
展示会は、8月10日(木)~13日(日) 9:30~19:00 (最終日は18:00まで)、高槻市立生涯学習センター1階展示ホールで開催されます。タ・チ・ソ(たかつき・ちか・そうこ)の敗戦直後と現在の写真展、沖縄戦とひめゆり学徒隊に関するパネル展、戦時中の高槻・島本の写真やパネル展等会場いっぱい平和を訴える展示があふれています。また、ビデオ、アニメも上映されています。

ホームページ参照 <https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/18/64352.html>

前頁に紹介した、大倉氏の講演会で紹介された、**鶺鴒から消えた鳥たち**を紹介します。これらは、ある時期から大倉氏が見なくなった鳥たちで、もし、これから鶺鴒でこれらの鳥を見つけられましたら、大倉氏又は編集部迄ご一報をお願いします。

鶺鴒から居なくなった鳥たち

以前は年間116種の鳥



① オシドリ



2012年頃から、鶺鴒で見られなくなりました。
(野鳥図鑑他より) **豊かな色彩と形が魅力の羽衣**
オスは羽色が色彩豊かなカモ類。主に本州中部以北で繁殖し、漂鳥として冬季になると本州以南(主に西日本)へ南下し越冬する。または冬鳥のように冬期に国外から渡って来ることもある。仲が良い夫婦を「おしどり夫婦」と呼ぶが、鳥類のおしどりは、冬ごとに毎年パートナーを替える事が判明している。

② キアシシギ



2013年頃から、鶺鴒で見られなくなりました。
(野鳥図鑑他より) **黄色い足で走り回るシギ**
和名の由来の黄色い足と胸の横斑が特徴のシギ類。シベリア北東部やカムチャツカ半島などで繁殖し、冬季は東南アジア、ニューギニア、オーストラリアに渡りをおこない越冬する。日本では旅鳥として、北海道から沖縄までの各地で、春は4月から5月、秋は7月下旬から10月ごろまで観察される。

次回 8月の“守る会”開催日程 8月26日(土曜日) 15時~17時 上牧公民館

五領・鶺鴒写真情報 2023年7月19日他 撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。
以下の写真は、氏の Facebook より主に鳥の写真を転載させて載せております。
ホームページ : <https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



ツバメの幼鳥



まだ幼鳥かなハクセキレイ、水浴びのあとのブルブル



田んぼに佇むアオサギ



朝餉中のコサギ



ホオジロ



ヒヨドリ

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会
代表 : 上田 博夫
住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内
電話番号 : 090-2283-1619 (村井)

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部 : 高槻市の行政組織一部改革が6月に実施された。これにより、今まで教育委員会傘下にあった、公民館と図書館が市長部局である市民生活環境部に移りました。ホームページの行政組織図はまだ改訂されていない。さて、この変更の意図は何でしょうか？公民館とコミュニティ推進室は同じ部になった。五領は公民館の中にコミュニティがある。早急に適正な対応を望みます。
次回「守る会」定例会は**2023年8月26日、第4土曜日**
15:00~17:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。
連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp) (090-2283-1619) 迄